

# 3Kプラン・周知度78%

まちかどトークの機会を利用して、菅谷市長が独自施策として昨年発表した3Kプラン（公約に掲げた10のまちづくりを縦系に、最重要課題として、健康づくり、危機管理、子育て支援を部局横断的に横系として取り組む、頭文字をとって3Kプラン）についての市民の皆さんへの周知度、浸透度についてもお



田川地区の市政まちかどトーク

伺いしました。

参加された皆さんの内、77.9%、約8割の方が3Kプランについてご存知で関心の高さがうかがわれました。また、どこで3Kプランを知ったか（複数回答）については、広報まつもとが64.8%、新聞24%、知人が5.6%という結果でした。3Kプランについては、次の

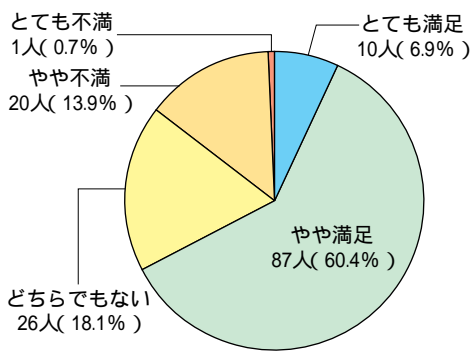
- ・ ような具体的なご意見もいただきました。
- ・ 子どもの成長には情操教育が必要。童謡唱歌の普及を、母親が子育てをしながら仕事の出来る環境を。（託児所を沢山作って欲しい。）
- ・ 子育て支援に公民館施設の活用を。
- ・ 健康がすべての基本だと思ふので、その源である食の大切さについて市で取り組んで欲しい。

- ・ 市内案内板に岳都をアピールできるような工夫を。
- ・ 上高地登山鉄道の実現を。
- ・ まちかどトークに地元職員が多数出席していたのは歓迎すべきこと。地域住民と職員の交流が、住民の市政への参加意識を育てる。
- ・ 市の財政状況を分かり易く数字で示し、協力するようにしないと次世代に迷惑がかかる。
- ・ 市職員は積極的に先進地に学び市民を啓発できるようにしてほしい。
- ・ 職務の合理化、人員削減を真剣に考えられたい。不用不急な事務処理等あるのではないかと。
- ・ 地域に関する事業（国・県・市）の全体計画と進捗状況、将来見通しについて、市から説明してほしい。

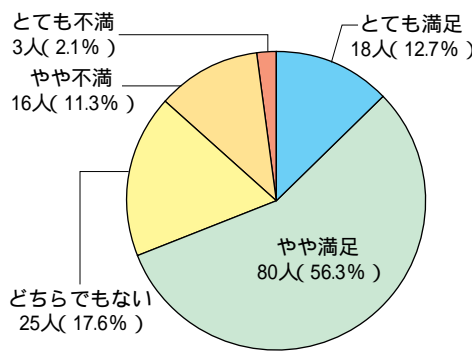
## 寄せられたご意見には

アンケートでは、市政一般についても、多くのご提言をいただきました。その一部をご紹介します。その他の提言については、ホームページをご覧ください。

1 まちかどトークの全体評価は

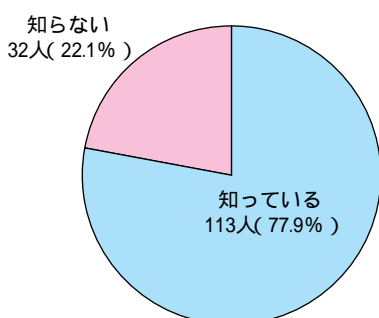


2 三役・部長答弁の内容について

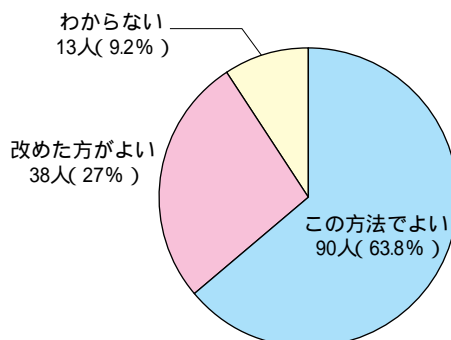


- ・ 補助金や助成金を出している事業については、効果を検証して欲しい。
- ・ 検討しますではなく、いつまでにとりょうに期限を区切った回答を。
- ・ 駅前の自転車整理は進んでいないが、違法駐車が目にする。

3 3Kプランをご存知ですか？



4 地域課題トフリートーク中心のスタイルは？



- ・ 徹底した取り締まりを。
- ・ まちかどトークの概念について、広報でPRすべきだ。
- ・ 問合せ・ご意見  
市政まちかどトークに関するご意見、お問い合わせは、広報国際課広報広聴担当 電話343000内線1143へ

# 市政まちかどトーク

## ぜひくばらんに意見交換しました

市では、今年度から市民の皆さんの声を市理事者がお聞きする手法として、新たに「市政まちかどトーク」をスタートさせました。従来の陳情や要望が中心だった「市政懇談会」から地域の課題についての意見交換、提言、フリートークを中心にしたもので、ざっくばらんな意見交換から協働のまちづくりを目指しています。17年度の開催概要をお知らせします。

### 11回の開催666人が参加しました

市政まちかどトークは、町会連合会常任理事会と地区単位で開催し、3年間で34地区全地区での開催を予定しています。

平成17年度は、町会連合会常任理事会で2回、地区単位では、7月の松原地区をかわきりに、岡田、鎌田、松南、庄内、神林、島立、田川、1月の第2までの9地区で9回、合計11回開催しました。

市政まちかどトークでは、町会の役員の方々はもちろん、広く役員以外の皆さんにも参加を呼びかけた結果、参加者は、9地区で666人、平均74人の皆さん

平成18年度も7月以降に市政まちかどトークを開催してまいりますので、地区単位で開催をご検討ください。

### アンケート調査を実施 7割が評価

まちかどトークを開催する中で、この事業への評価とより市民の声を反映させるため、アンケート調査を実施することになり、神林、島立、田川、第2の4地区で実施しました。

4地区で出席いただいた354人中、146人にご回答いただき、回収率は41・24%でした。

質問項目への回答内容の詳細は、次頁のとおりですが、まちかどトークの全体評価については、「とても満足」が6・9%、「やや満足」が60・4%と約7割の方に評価していただき、「どちらでもない」の18・1%、「やや不満」「とても不満」の計14・6%を大きく上回りました。

三役・部長答弁の内容についても、「とても満足」と「やや満足」の計が69%で、「どちらでもない」が17・6%、「やや不満」「とても不満」が13・4%でした。

不満足の原因としては、予め提出されていた議題の質疑に多く時間がかり、フリートークの時間が十分でないと言った意見がもっとも多く、次年度以降は分かり易く、簡潔な説明に務め、フリートークの時間を十分確保してまいります。

地域課題と提言等のフリートークを中心とした開催スタイルについては、63・8%の方から支持をいただきました。その

中で「若い人だけのフリートークキングの場を設けて欲しい」「提言・提案については、その扱いがどうなったのか、過程や結果（効果）を公表して欲しい」という声も寄せられ、後者については早速取り組むこととなりました。

また、原則として各地区3年に1回の開催目安については、「この程度でよい」の47・2%を「もっと増やす」が48・2%と上回り、「三役・市理事者ともっと活発に意見交換をしたい」「市側の出席者は少なすぎてよいから毎年開催して欲しい」という声も寄せられました。

3年に1回の開催は、あくまでも目安ですので、開催ご希望の地区、或いは、地域の課題等によつては、3年に1回にこだわりませんので、広報国際課にご相談ください。